

<参 考>

## インドネシアの電力事情

### 1. インドネシアと当社の比較

	インドネシア*	当社
発電設備（電気事業用）	2,146 万kW	6183.5 万kW
水力	320 万kW	899 万kW
火力	1,786 万kW	3,553 万kW
地熱	40 万kW	0.3 万kW
原子力	-	1731 万kW
最大電力	1,890 万kW	6,430万kW(2001年7月)
販売電力量	1,001 億kWh	2,876 億kWh

(インドネシア：2004年末、当社：2006年度末)

\*インドネシア国有電力会社（子会社含む）

### 2. インドネシア国有電力会社について

インドネシア国有電力会社は、エネルギー政策の企画立案を担当するエネルギー鉱物資源省の管轄の下にある。国有電力会社およびその子会社、I P Pが発電部門を受け持ち、送電、配電を国有電力会社が一貫体制にて運営している。

### 3. 電力需要

電力需要は、アジア通貨危機などの影響により1998年に一時停滞したが、経済の回復に伴い上昇傾向にある。

パイトン発電所が連系されているジャワ・バリ系統では、2025年までに石炭火力とガスコンバインド・サイクルを中心に累計で5,456万kWを開発する予定である。

以 上